

社の空間構成に関する研究

東京 12 社の地形と配置

Geographical feature of 12 companies of Tokyo, and arrangement

The geographical feature of a shrine and the relation of arrangement to a city

佐藤信治¹, ○中山淳雄²Satou Shinji¹, *Nakayama Atuo²

In recent years, concern about power spots, such as a shrine, is increasing. However, research on the space composition is seldom done. Then, analysis by the numerical map, the topographical map, and a field survey was applied that the cross-sectional space should be investigated this time. As a result, it became clear that shrine space is mainly divided into a mountain type, a valley type, and a plane type. There are many mountain types even especially in inside. This will be because it was built from suffering a calamity by the flood damage of each shrine in the high place.

1. はじめに

近年、パワースポットの一つとして神社空間に関心が高まっている。本研究では、多くの人々が訪れ集う神社空間の癒しの作用だけでなく、神社の空間的魅力を解析し、都市における神社空間の位置付けについて分析する。

2. 研究目的及び研究対象・方法

神社空間を断面的に調査し、そこから得た結果を分析し神社空間の空間構造を解明する。そして、今後の都市内における癒しの空間創りの手掛かりとなる要素を見出す事を目的とする。

研究対象は東京十二社について詳細に分析する。研究方法は、数値地図、地形図、現地調査をもとに各神社の断面的特徴を、分析・考察を行うものである。

3. 東京十二社の構成と配置

河川等の地形変化と都市における配置関係について、比較・考察する。Figure1より東京12社は、皇居を囲むように南北に長く配置されている。特に鬼門と裏鬼門に当たる方角に近い神社を選定したと考えられる。



Figure1. 12 companies of Tokyo arrangement plan

4. 神社の空間構成:敷地全体の形状について

数値地図、地形図、現地調査をもとに各神社それぞれ地形を断面的な特徴から分析・考察を行う。

1) 神田は鳥居から拝殿の参道で最高 14m の標高差

がある。参道方向との直行した方面も拝殿の地点と周辺の標高に比べ 8m の標高差がある。2) 白山は神社

周辺の標高も高い地点にあるが、さらに拝殿までは 6.3m の標高差がある。参道の直交方向も拝殿と周辺地点で 8.5m の標高差がある。

3) 日枝は鳥居から拝殿まで 9.5m の標高差があるが、参道の直行方向も一番低い地点と 20m の標高差がある。4) 氷川は周辺の地形の標高の数値は 20m 以上と高い地点にあるが、鳥居から拝殿までも、参道の直行方向も西側から拝殿のところまで 8m 下がる。5) 王子は鳥居から拝殿まで 1.5m ほど上がる。しかし参道の直交方面は西側から 35m 進むと 5m ほど下がってから再び拝殿に向かうまでの間に約 13m 上がる。

6) 品川は階段や坂を使って鳥居から拝殿まで 12m 上がる。しかし西東方面では周辺の地点に比べ、12m ほど下がってから、東に行くにつれ 9m ほど上がる。7) 芝は全体的に標高差が小さいが、鳥居から拝殿までもその直交方面も拝殿の地点で 0.1m 下がる。8) 根津は鳥居から拝殿まで、1m 下に下がる。しかし参道との直交方面は西側から拝殿の地点で 10m 下がってからは平坦な地形をしている。

9) 亀戸は神社周辺との標高差は無いが地盤面を基準に 1m ほど上下を繰り返している。また神社は水面よりも低い地点に在る。10) 富岡は全体的に高低差が少ないが、鳥居から拝殿までも参道との直行方面も 2m だけ拝殿のところだけ少し上る。

11) 大國魂は神社周辺地点も 50m あり、拝殿の地点も 55m ある。しかし全体的にはあまり高低差は無く、神社内の地形自体は平坦になっている。12) 鷲宮は全体的に平坦で標高差はほとんど無い。鳥居から拝殿までも、参道との直行方面も拝殿の地点 1m ほど上がるのみである。

1: 日本大学理工学部海洋建築工学科

1: Department of Oceanic Architecture & Engineering College, CST., Nihon-U

2: 日本大学理工学部海洋建築工学科

2: Department of Oceanic Architecture & Engineering College, CST., Nihon-U

5. まとめ

以上各神社の特徴から配置に関する敷地全体の形状は主に山型，谷型，平地型の三種類に分けられることがわかった．さらに山型はアプローチ方向からみて山型，山→谷型，谷→山型の三種類に分けられる．また，谷型は一の鳥居から本殿にむかってわずかに下がるタイプである．そして，平地型は付近の地形でわずかに 1m 程度高いタイプである．

各社の水害による被災の遷座の歴史から，各社は周

囲より極力高い場所を選んで本殿を鎮座しようとしてきたからであろう．

参考文献

【1】国土地理院 Geographical Survey Institute：「数値地図 5m メッシュ（標高）東京都区部」，平成 15 年 12 月

【2】東京都デジタルマップ Tokyo digital map：「東京都 2,500 デジタルマップ 東京都全域」，平成 17 年 1 月

社名	形状	境内へ向かう地形と参道図		配置図(同一スケール)	一の鳥居からの参道
1)神田明神	山型	参道方向	参道と遷安方向	神田明神	
西-東方向		南-北方向			
2)白山神社	山型	参道方向	参道と遷安方向	白山神社	
西-東方向		南-北方向			
3)目黒神社	山型	参道方向	参道と遷安方向	目黒神社	
西-東方向		南-北方向			
4)赤坂氷川神社	山型	参道方向	参道と遷安方向	赤坂氷川神社	
西-東方向		南-北方向			
5)王子神社	山型	参道方向	参道と遷安方向	王子神社	
西-東方向		南-北方向			
6)品川神社	山型	参道方向	参道と遷安方向	品川神社	
西-東方向		南-北方向			
7)芝大神宮	山型	参道方向	参道と遷安方向	芝大神宮	
西-東方向		南-北方向			
8)根津神社	山型	参道方向	参道と遷安方向	根津神社	
西-東方向		南-北方向			
9)亀戸天神社	山型	参道方向	参道と遷安方向	亀戸天神社	
西-東方向		南-北方向			
10)富岡八幡宮	山型	参道方向	参道と遷安方向	富岡八幡宮	
西-東方向		南-北方向			
11)大塚天神社	山型	参道方向	参道と遷安方向	大塚天神社	
西-東方向		南-北方向			
12)雑司が谷神社	山型	参道方向	参道と遷安方向	雑司が谷神社	
西-東方向		南-北方向			

形状の分類 山型 山→谷型 谷→山型 谷型 平地型
 配置図は上記の順序で示す ▲は一の鳥居、▲はその他の入口を示す

Table1.Geographical feature of 12 companies of Tokyo, and arrangement